

平成 2 8 年 2 月 2 6 日

第 5 回 愛西市立小中学校適正規模等検討協議会
会議録

第5回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会 会議録

開会日時 平成28年2月26日(金) 午前10時00分
閉会日時 平成28年2月26日(金) 午前12時00分
場 所 八開農業管理センター 研修室

- 出席委員
- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 伊藤 勝康 |
| 副会長 | 伊藤 正憲 |
| 副会長 | 千賀 浩司 |
| 委員 | 水谷 朋和 |
| 委員 | 原田 大栄 |
| 委員 | 服部 英生 |
| 委員 | 宇野 明美 |
| 委員 | 中野 義治 |
| 委員 | 水谷 瀧男 |
| 委員 | 伊藤 尚美 |
| 委員 | 三輪 義治 |
| 委員 | 猪飼 常雄 |
| 委員 | 五島 直和 |
| 委員 | 中田 貴士 |
- 欠席委員
- | | |
|----|--------|
| 委員 | 森 智恵美 |
| 委員 | 田中 智治 |
| 委員 | 佐藤 有見子 |
| 委員 | 渡邊 佳子 |
- 事務局
- | | |
|-----------|-------|
| 教育長 | 加藤 良邦 |
| 教育部長 | 石黒 貞明 |
| 学校教育課長 | 田中 亮長 |
| 学校教育課課長補佐 | 森田 圭一 |
| 学校教育課主事 | 伊藤 公亮 |
- 傍聴者
- なし

■ 次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

(1) 適正化に関する基本的な考え方について

(2) 適正化に向けた具体的な方策について

(3) 協議会の今後の取り組みについて

(4) 次回（第6回）協議会開催について

(5) その他、意見交換

4. 閉 会

【事務局】	ただいまから第5回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会を始めます。 本日は、傍聴人はございません。また、森智恵美委員、田中智治委員、佐藤有見子委員、渡邊佳子委員より欠席の連絡がありましたので報告させていただきます。なお、事務局の神田直也教育部次長は公務のため欠席とさせていただきます。 はじめに会長の伊藤勝康様より挨拶をいただきます。
【会長】	(会長挨拶)
【事務局】	ありがとうございました。 次に、「3. 議題」でございます。ここからの議事進行は、伊藤会長にお願いします。
【会長】	では、次第に基づきまして議事を進行していきます。 なお、本日の議事録署名者は、伊藤尚美委員と三輪義治委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。 (1) 適正化に関する基本的な考え方について議論する前に、まず、配布の資料1～4について事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	(配布資料について説明)
【会長】	検討協議会資料＜参考5＞について説明いたします。こちらは文科省から出ている『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引き』の抜粋です。 (参考5について説明)
【会長】	検討協議会資料＜参考6＞について説明いたします。学校選択制についての資料です。 (参考6について説明)
【会長】	(1) 適正化に関する基本的な考え方について議論を進めます。討議資料の1をご覧ください。適正規模、適正配置に関しての考え方についてご意見はございますか。 (意見無し)

【会長】	続いて、(2) 適正化に向けた具体的な方策について議論を進めます。討議資料の2をご覧ください。 まず、①適正規模についてですが、議論の題材として提案を書かせていただきました。ただ、愛西市を一つの単位として学区を振り分ける事は地域コミュニティの観点から不可能と考えましたので、地区ごとで提案をさせていただきます。 佐屋地区について、将来の問題として佐屋西小の人数が少なくなっていく問題があります。市街化の区域なので将来の人口が増えれば問題ないですが、減る場合は佐屋小学区西部を佐屋西小への進学を選択制にすることを考えてはどうかと思います。 立田地区について、(1案)は福原分校を含め立南小と立北小を統合するものです。なお、括弧内の数字は現在の生徒数推計による平成33年時点の学級数と生徒数です。(2案)は立田地区のみでなく、八開地区の小学校を含めて統合するものです。これでも適正規模の範囲内になります。(3案)は中学校ですが、八開中はこのままですと平成33年で103人の3学級となるため、単独での運営は難しいのではないかと思います。また、都市計画によると田園ゾーンで人口増がむずかしいことを考えると、同じ田園ゾーンで立田中と八開中を統合するものです。 八開地区について、(1案)は八輪小と開治小を統合する案です。また、(2案)(3案)は立田地区で提案したものです。(4案)は現実的には難しいかもしれませんが、考え方として提案しました。八輪小を立田中学区に、開治小を佐織西中学区へ再編するものです。 佐織地区は現状通りで維持をしていくというものです。 続いて、②適正配置(通学条件)についても原案として提案させていただきます。(1案)は福原分校を含め立南小と立北小を統合する場合には立田中の敷地又は隣接地に新設し、八輪小と開治小を統合する場合は八開中の敷地又は隣接地に新設する。(2案)は立田八開地区の小学校を統合する場合は立田八開地区の中間地点である立北小辺りに新設する。(3案)は中学校のことですが、立田中八開中を統合する場合は、立田八開地区の中間地点に新設する。(4案)は(2案)(3案)を新設した場合には中間地点で併設し小中一貫を進める。 会長からの提案として意見を出させていただきましたが、ここからは各委員から意見をいただきたいと思います。 まずは適正規模に関してご意見をお願いします。
【委員】	市の形を見ると南北に長いため、立田八開地区と一緒に統合するのは範囲が広すぎると思います。また、立田南部は佐屋地区との調整も考えてみてもよい

	と思います。
【委員】	問題のある立田八開地区を統合するのではなく、立田八開地区の小学生は学校選択制を使い、西川端、草平、佐屋西から小学校を選択して通ってもらい、中学になったら立田八開地区で1つの中学校に戻る方法もあると思います。問題のある地区のみにこだわらず、新たに再編するのはどうでしょうか。
【会長】	お二人の意見として、旧4町村の地区をまたいで再編を考えても良いのではという意見がありました。
【委員】	方針の中では地域コミュニティーや地理的条件を配慮するとあるので、広範囲での統廃合になると、この方針と整合性が取れるのかが心配です。また、学校選択制では、計画的な学校運営をするにあたり、児童生徒と保護者の数が把握しにくいのは問題があるのではないかと思います。
【委員】	配布の都市計画マスタープランはあくまで都市計画なので、教育とは別なのかなと思います。 旧立田八開地区と旧佐屋佐織地区では田舎部と都市部で考え方が違うと思うので、あえて地域をまたぐことで、色々な考え方に触れる事ができるのではないかと思います。 学校選択制であれば、既存の施設を使用でき、新しく施設を建てる必要もなくなると思います。
【会長】	都市計画と教育を切り離して考えるのはできないのではないかと思います。また、地区をまたいでの統廃合は地域コミュニティーの面からも難しいのではないかと個人的には思います。
【委員】	学校選択制の意見で、立田八開地区が佐屋佐織地区へ通う意見がありましたが、逆のパターンは認められないのかという意見が出てきて複雑にならないかなと危惧しました。
【会長】	学校選択制で規模の小さい学校から大きい学校への移るのを認めると、規模の小さい学校はさらに小さくなってしまいう危険がありますので、導入も簡単ではないのかなと思います。そのため、学校選択制は最小限の地域内で考える必要があります。
【委員】	学校選択制は規模の大きい学校から小さい学校へ通うように選択する方が望

	ましいと思います。立北小では南川並地区で草平小へ通う児童がいることで1クラス減が発生しています。また、地域コミュニティでは総代をはじめ、子供会、少年野球等の再編も進めなければいけないと思います。そのため、地域コミュニティや地理的条件を配慮することは非常に大切だと感じます。
【会長】	統廃合は単純に地図上の位置と児童生徒の数で決めるものではなく、その他の条件を考慮し、地域コミュニティも含めて考えると、やはり地区をまたいで行うのは難しいのではないかと感じております。
【委員】	学校区や地域のつながりは大事だと思いますので、中学校区内での小学校の選択制なら可能ではないかと思います。 また、小規模校の良さ、大規模校の良さをそれぞれ伸ばせば、保護者も選択がしやすいと思います。
【会長】	各学校で特色のある運営をしていたいただいているとは思いますが、学校に通わせていない地域の皆様には伝わりにくいものがあるかもしれません。理想像はたくさんあるかと思いますが、現実問題として、クラス数、児童生徒数、それに伴う配置の問題を含め、具体的な案などありましたら提案をお願いします。
【委員】	立田地区八開地区の小学校を統合する案が良いと思います。資料によると2040年にはかなり人口が減りますので、将来のことを考えると立田八開の小学校を統合し、距離が遠くなるのでスクールバスの導入も考えていただければと思います。納涼祭りなど地域のつながりは残しつつ、学校の再編を考えていければよいと思います。適正規模は将来の児童生徒数やコスト等を考えたとき、どうしても必要ですので、地域のつながりを残していければ、自分の育った地域に愛着ができるのではないのでしょうか。
【委員】	佐屋小学区の西部を佐屋西小へという案がありますが、これを導入しても対象の児童数が少なく、効果がどれほどあるのかなと思います。 また、学校を新設するのであれば、できるだけ規模が大きい方が良いです。それは、中学校の先生の意見として、部活の数が少なく選択の余地がないことがあるからです。部活以外でもクラス数が少ないと同じ学年の担任が少なく、相談できる相手がいないため不安になるという意見もあり、教員のスキルアップ面でも相談、手本になる教員が少ない事は良くないと思います。
【委員】	適正化実現のための予算の裏付けについて、統合で施設数を減らす、新しい設備をつくる、今の施設を活かして維持していく、様々な方法があります。ど

	の方面で進めるのかを予算の面でも議論が必要かなと思います。
【委員】	生徒数が少なくなったり、施設の建て替えが必要になったりして、いきなり統合するよりは、学校選択制で人の流れを作っておくと、次の段階の統合へ移りやすいのではないかと思います。
【会長】	学校選択をやみくもに認めてしまうと様々な問題が発生する懸念がありますので、あくまで適正規模が根底にあり、その中でどれだけ選択制を認めて行けるかという事だと思います。東京や大阪の都市部のようにどの学校でも選択できる制度を愛西市で取り入れるのは難しいと思います。 大きく考えて、佐屋立田地区をまたいでの統合、佐織八開地区をまたいでの統合は考えず、立田八開地区を一緒にすることについてはご意見ありますでしょうか。
【委員】	以前、学校評議会がありその中で適正規模の話題になりました。八開地区、立田八開地区での統合案についてはあまり意見が出ませんでした。開治小を佐織西中学区にという意見を出したところ、反対意見が多くありました。立田八開の統合より佐織地区との統合はハードルが高いのかなと思いました。やはり、具体的な方針があると意見が集まりやすいのではないかと思います。
【会長】	全体の意見をお聞きして、佐屋地区の（１案）は難しく感じましたので却下とします。立田八開地区の（１案）は将来の人口減を鑑みると、それぞれの地区で統合しても、また同じ問題が発生すると考えられるため却下とし、（２案）は残すことにします。（３案）は八開中の生徒数が将来の問題としてありますので残すこととします。設置の場所は立田八開地区の中間地点と考えております。
【委員】	立田八開地区それぞれで小中一貫校にするという考え方も以前あったように思いますが、その案はないのでしょうか。
【会長】	やはり、中学生の数が少なくなっていまい、子どもたちの学習環境や教員の指導する立場を考えても存続は難しいと思っています。 そのため、立田八開地区の（２案）（３案）を継続審議とすることといたします。 続いて、討議資料２の③についてです。適正配置の推進について５項目挙げております。特筆すべきは、各地区で統廃合を進める場合は、一括で行うのは難しいため、地区ごとに時期をずらして行うという事です。 次に（３）協議会の今後の取り組みについてですが、まず１つ目に、当初の

	計画にありました先進地の視察については中止とさせていただきたいと思います。理由としては、適正化に向けた情報はホームページ等で取得したり、担当者に直接聞くなどしたりできるためです。 2つ目に、これからの予定として、あと3回協議会の予定があります。次回の第6回は継続審議に加え、基本計画素案の骨子と概要を、第7回では具体的に文面に起こし、第8回で教育委員会に答申をする予定としております。 また、啓発方法としまして、広報、ホームページを予定しておりますが、その他事務局から案はありますでしょうか。 【事務局】 前回の協議の場でも出ていましたが、より多くの方々の意見を吸い上げるために色々な立場の方にアンケートを取っていきたいということがありました。事務局でも色々と検討しましたが、基本計画を28年8月には形にすることから、市内全員の方からのアンケートは難しいと思われるため、少数の方を対象に、なおかつ、小中学校適正規模の検討に関係のある方々のご意見を伺うため、学校関係の教員及び保護者と就学前の子供を持った保護者に対するアンケートを考えました。学校においては、全体ではなく学校ごとに学年、クラスを抽出して保護者の方よりアンケートをいただき、児童生徒においては、意見があれば記入してもらいたいと思います。就学前の子供を持った保護者には、保育園、幼稚園でクラスを抽出してのアンケート又は3歳児検診の際にアンケートを取る。また、全体的には回覧板やホームページで呼びかけ、意見を聞き取ることや、総代にアンケートを依頼すること等を考えました。 アンケートの方法については、事務局に一任していただけるとありがたいと思います。 【会長】 続きまして、次回協議会の開催日時についてです。5月の開催を考えています。 (次回日程の調整) 【会長】 それでは、次回協議会は平成28年5月11日(水)の午前10時からとさせていただきます。 それでは「第5回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会」を終了いたします。長時間お疲れ様でした。
--	---